

育児時短勤務期間等に係る証明書

1 シフトで具体的な労働日や労働時間が確定するような勤務形態の場合

(1) 育児時短勤務を開始する1週間の所定勤務時間

	対象期間										暦日数	実勤務時間							
①	令和	7	年	3	月	1	日	～	3	月	31	日	31	日	100	時間	0	分	
②	令和	7	年	4	月	1	日	～	4	月	30	日	30	日	95	時間	0	分	
③	令和	7	年	5	月	1	日	～	5	月	31	日	31	日	110	時間	0	分	
④	令和	7	年	6	月	1	日	～	6	月	30	日	30	日	100	時間	0	分	
⑤	令和	7	年	7	月	1	日	～	7	月	31	日	31	日	115	時間	0	分	
⑥	令和	7	年	8	月	1	日	～	8	月	31	日	31	日	100	時間	0	分	
計											184	日	620	時間	0	分			

育児時短勤務を開始するの1週間の所定勤務時間→ 23 時間 34 分

(2) 育児時短勤務中の週所定勤務時間

	支給対象月				暦日数	実勤務時間				週所定勤務時間						
①	令和	7	年	9	月	30	日	71	時間	0	分	→	16	時間	33	分
②	令和		年		月		日		時間		分	→	0	時間	0	分
③	令和		年		月		日		時間		分	→	0	時間	0	分

(注1) (1)の①～⑥は、育児時短勤務を開始した日前6か月間

(注2) (1)(2)の実労働時間には、法定労働時間(1日8時間・1週40時間又は44時間)を超えない部分の実際の労働時間を記載すること。

2 フレックスタイム制、変形労働時間制の場合

	単位期間・対象期間					期間中の総勤務時間				週所定勤務時間						
①		月	～		月		か	月		時間	分	→	0	時間	0	分
②		月	～		月		か	月		時間	分	→	0	時間	0	分

<参考>週所定勤務時間の計算方法(いずれも分単位未満切り捨て)

1 シフト制の場合

該当期間※1の実際の勤務時間※2 ÷ (該当期間の暦日数※1 ÷ 7日) ※3

※1 本来の週所定勤務時間を計算する場合は、育児時短勤務を開始した日前6か月間、支給対象月の週所定勤務時間を計算する場合は、その支給対象月をいいます。

※2 法定労働時間(1日8時間・1週40時間又は44時間)を超えないものに限りです。

※3 括弧内に端数が生じた場合は小数点第3位を四捨五入してください。

2 フレックスタイム制、変形労働時間制の場合

単位期間(対象期間)の総勤務時間 ÷ 単位期間(対象期間)の月数 × 12月 ÷ 52週

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

令和〇年〇〇月〇〇日

職 名 〇〇市長

所属所長

氏 名 〇〇 〇〇